

かちゅうらいぶらい

令和3年11月発行
加賀田中学校図書室

秋の夜長を楽しんで！第二弾！

新しい本の紹介

読書感想画の課題図書です

木がらしや^{めざ}目刺しにのこる海の色

あくたがわ りゅうのすけ
芥川 龍之介(1892~1927)

芥川賞(芸術性に重きをおいた小説の新人賞)に名をのこす大正時代を代表する作家です。エゴイズム(自分本位の考え方)のような人間の暗い側面に光を当て、冷静に批評する作品を書きました。代表作に『鼻』『蜘蛛の糸』『羅生門』などがあります。

(藤森徳秋、『学習 俳句・短歌歳時記4冬の名句と季語』国土社、1991)

11月は 読書月間です。

5(金)、10(水)、12(金)はひとり 5冊まで借りることができます。

たくさん読んだ人に ささやかなプレゼントもありますよ！

11月 としよしつカレンダー							2021年 かちゅう
月	火	水	木	金	土	日	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19 蔵書点検	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

10(水)はお昼休みまでの開館

19(金)は蔵書点検のため閉館になります。



『世界とキレル』

佐藤 まどか

中2の舞は夏休みにある特殊な指導をする合宿に参加する。始めはその指導方針に反発した舞だったが、仲間との共同生活の中で鮮やかに変わっていく。

『武器ではなく命の水をおくりたい』

中村哲医師の生き方 宮田 律

2019年、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたってパキスタンとアフガンで人道支援にあたった生涯を巡りつつ、その生き方、考え方に学ぶ。



『きみのいた森で』

ビート・ハウトマン

祖父を失って落ち込んでいたスチューイ。エリーという少女と知り合い、元気をとり戻すが、森の中で突然彼女が消えてしまって…。一体何がおこったのか！？

『零から〇(ゼロ)へ』

まはら 三桃

戦後、一家を支えるために大学をやめ鉄道総局の研究所に入所した聡一。高速鉄道の開発にあたっていたのは、かつて戦闘機を作っていた技術者達だった。



『大切な人は今もそこにいる』

ひびきあう賢治と東日本大震災』

千葉 望

災害の中の死を考える本。

著者は東日本大震災で親族を失くし実家のお寺が避難所となります。大切な人は亡くなくても心の中にいることを綴っています。